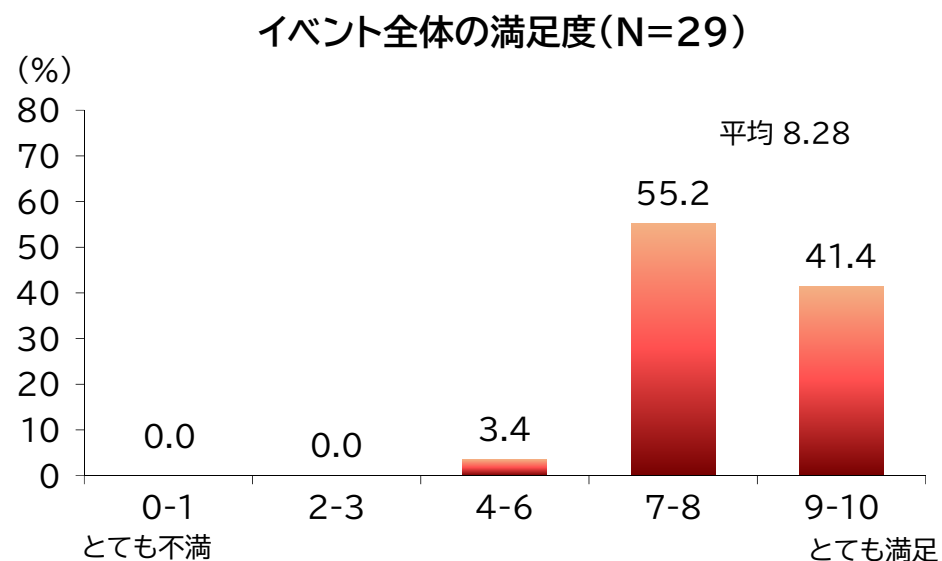


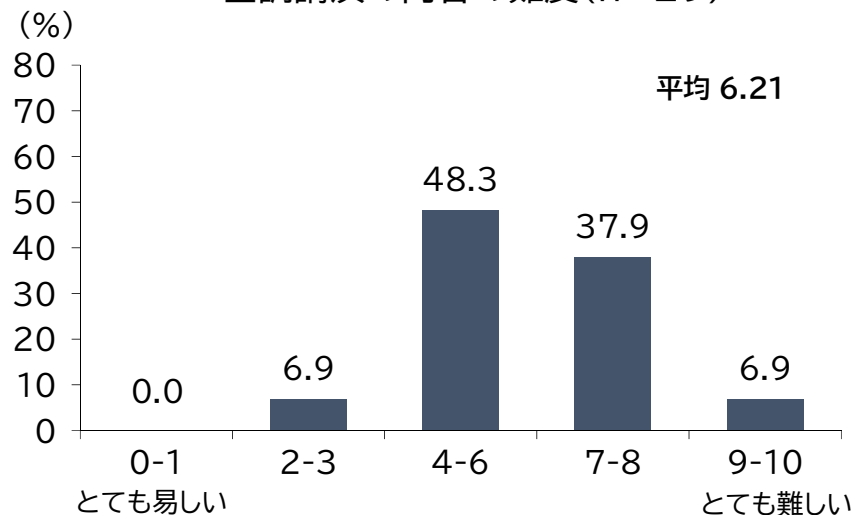
第8回 自治体シンクタンク研究交流会議 参加者アンケート集計結果

令和4年11月17日

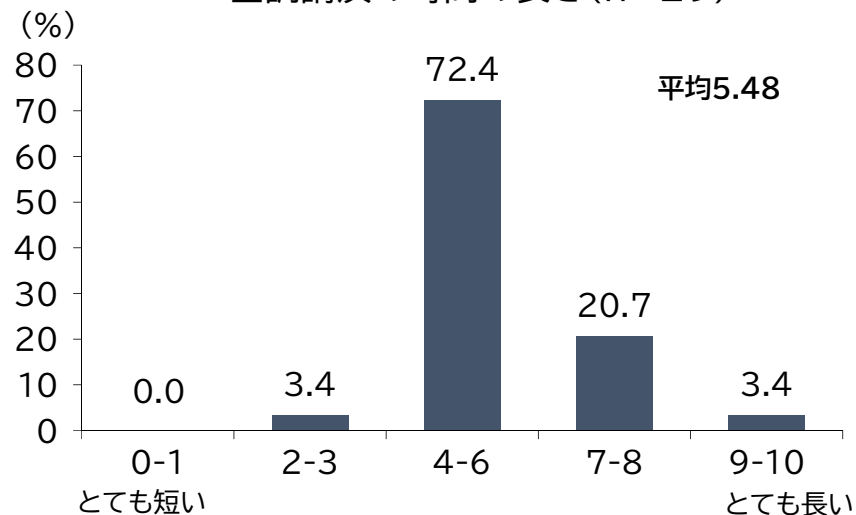
イベント全体の満足度は9～10点が41.4%、7～8点が55.2%、4～6点が3.4%であり、平均点は8.28点と、高い評価を得ることができました。



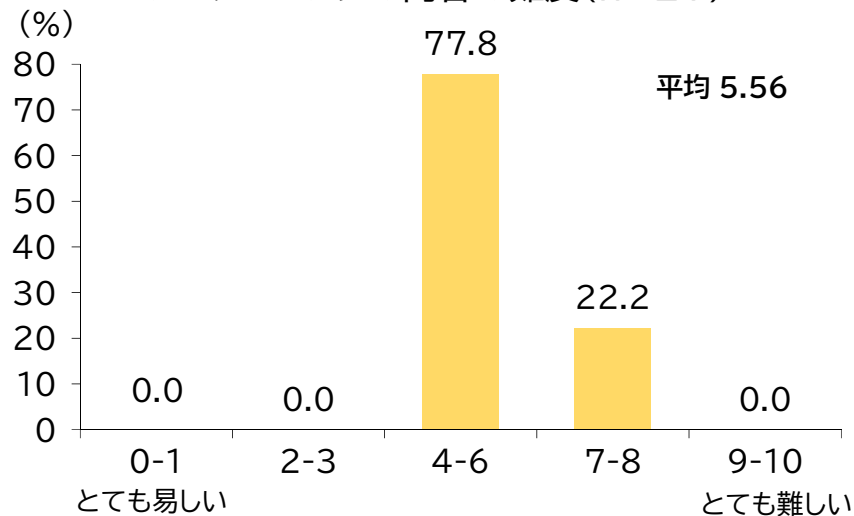
基調講演の内容の難度(n=29)



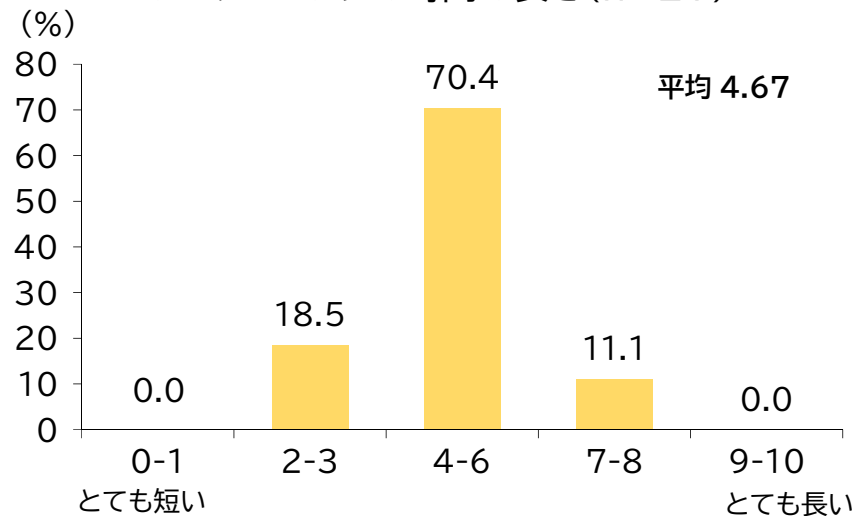
基調講演の時間の長さ(n=29)



ワークショップの内容の難度(n=27)



ワークショップの時間の長さ(n=27)



Q 講演、ワークショップ以外に今後の交流会議において実施してほしいことがあれば教えてください。

- 参加都市紹介、各シンクタンクの自己紹介があると、交流を深めるきっかけになるのかな？と思いました。
- 住民の方々と交流する機会創出、将来の姿の描き方
- 名刺交換、各シンクタンクのパンフレット等の交換
- 講演とワークショップのみで充実していました。
- 立食の場（以前はあったのかもしれませんが）、自治体クイズ（アイスブレイクとして）
- 実際の自治体に視点を当てて、その課題に対して対応策を考えて実際にやってみる。

Q 今後の交流会議で扱ってほしいテーマを教えてください。

- 研究成果の政策への反映、自治体シンクタンクの今後について（発展、縮小）
- ①今回2日目のテーマだった「自治体シンクタンクの課題と今後の活動の方向性」については継続して扱っていただきたい。②
総合計画の進行管理について、市政への市民参画の在り方
- EBPM やオープンデータなど。
- やはり、人口減少対策、産業振興など。あと文化振興も。
- 10年先、20年先の自治体のあり方
- ポストコロナにおける自治体サービスについて。
- 行政データの分析、大学等との共同研究の進め方
- ソーシャルキャピタル、地域経済、困窮者支援
- データ分析
- 地域資源のまちづくり、データの公開、活用、分析等
- 各シンクタンクにおける具体的な分析・活用の共有をしてみたい。
- EBPM やロジックモデルの作成方法について
- 官民連携、DX
- これからの自治体職員のあり方や行政サービスの担い手についてなど扱っていただくと嬉しいです。

Q 今回の交流会議の改善すべきところ及び改善するための具体案を教えてください。

- ワークショップの時間は短く感じましたが、実際の時間は十分だったと思います。テーマを小さくすると良いのではないかと思います。
- 内容が充実していたので、全体的に時間が足りないと思われます。
- ワークショップの班メンバー以外と話せる機会があればよかったです（交流会以外の時間で）。
- 後半のワークショップでの共通作業を同一時間で進行させるとことが好ましいと思います。そうはいつでも改善策はすぐに思い当たりません。テーマ選択制などでしょうか。
- 特にありません。基調講演の内容の一部が専門的で理解しづらかったところがあります。
- 事前アンケートの途中保存および出力ができると助かります。
- スムーズに運営されていて特にはないと思います。ワークのまとめの発表について、もう少し長めに話す時間をとって良いかと思いました。
- ワークショップは人を替えたりテーマを替えたりするなどして複数回行いたいです。